

避難するときの心得

- **大雨洪水注意報**が出されたら、テレビやラジオなどの情報に注意するとともに、必要な持出品をもう一度確認するなど、**すぐに避難できる準備**をしましょう。また、停電や断水する前に、あらかじめ水をためたり、おにぎりなどの食料を用意しておきましょう

- **何よりも人命が第一です。**
“**あぶない**”と感じたら、浸水が始まらないうちに、**自分からすすんで避難**しましょう。市の避難所に自主的に避難するときは、事前に避難所が開いているかどうかを確認してから避難しましょう。

- 雨の中を子供やお年寄りなどを連れて歩いて避難するときは、**通常の2倍の時間**がかかると言われていいますので、**避難所へは早めに避難**しましょう。

- **障害のある方やお年寄り、子供、妊婦さんなど**避難に時間や手助けが必要な方を**優先的に**避難させるように、みんなで**協力して**避難の援助をしましょう。



- 避難するときは、隣近所に**声をかけ合い**、みんなで避難しましょう。

- 自動車での避難はやめましょう。交通渋滞や事故をまねき、救急車両などの通行のさまたげにもなります。



- 避難するときは、溝や水路のある道路を避け、なるべく**高い道路**を選びましょう。やむをえず、浸水した道路を通行するときは、長い棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

- 大雨や長雨のときには、山崩れやがけ崩れもおこりやすい状況になっていますので、避難するときには、**土砂災害にも注意**しましょう。

- 浸水して水の深さが腰まできたら**無理は禁物**です。ひとまず、近くの高台やじょうぶな高い建物などに避難しましょう。また、水深が腰下でも流れがある場合は特に危険な状況ですので、無理な移動はやめて水がひけるまで待ちましょう。

